

3. 外国

3-1 台湾、南洋地域

台湾

台北(Taipei)

JMAコード: TAIHOK、USGSコード: TAP

官署来歴

1886(明治29). 8. 11 測候所開設

観測地点

N 25° 02' E 121° 31' H 9m

地震観測履歴

1885(明治30). 12. 普通地震計観測開始
1901(明治34). 6. 強震計(大森式2倍)観測開始
1903(明治36). 大森式地動計観測開始
1913(大正 2). 11. 大森式微動計観測開始
1926(大正15). 大森式地動計(OS、教育品製造製、No71、東西動、固有周期26.1秒、倍率20倍、
摩擦値0.00037)
大森式微動計(OT、教育品製造製、No117、南北動、固有周期7.7秒、倍率120倍、
摩擦値0.037)
普通地震計(MS、教育品製造製、No72、固有周期2.5秒、倍率水平動5倍、上下動10倍)
大森式強震計(OL、教育品製造製、水平動1.3倍、上下動5倍)
時計、Riefler、No238、No282、Nardan、No448、Leroy、No1090
天文観測による時刻校正、標高8.0m
1933(昭和 8). 簡単微動計、ウィーヘルト地震計観測あり
(気象百年史資料編、99pなどによる大森式強震計は現在も保存されている)

台南(Tainan)

JMAコード: TAINAN、USGSコード: TAI

官署来歴

1887(明治30). 1. 1 測候所開設

観測地点

N 23° 00' E 120° 12' H 14m

地震観測履歴

1886(明治31). 1. 普通地震計観測開始
1903(明治36). 大森式地動計観測開始
1912(大正 1). 1. 普通地震計観測開始
1926(大正15). 大森式地動計(OS、教育品製造製、No2、東西動、固有周期13秒、倍率6倍、摩擦
値、0.00091)、普通地震計(MS、東京機械製、No42、倍率水平動5倍、上下動10倍)、
時計、Dent、No48752、田山、No2180、電信報時、標高14.3m
1933(昭和 8). 強震計、ウィーヘルト地震計観測あり

台東(Taitung)

JMAコード: TAITO、USGSコード: TTN

官署来歴

1901(明治34). 1. 1 測候所開設

観測地点

N 22° 45' E 121° 09' H 10m

地震観測履歴

1903(明治36). 大森式地動計観測開始
1909(明治42). 1. 普通地震計観測開始
1926(大正15). 大森式地動計(OS、教育品製造製、No4、東西動、周期14秒、倍率6倍、摩擦値0.
0082)
普通地震計(ML、教育品製造製、No74、周期3秒、倍率水平5倍、上下10倍、摩

擦0.178)、時計Russel、No. 7058、電信報時、標高8.9m
 1933(昭和 8). . . 強震計、ウィーヘルト地震計観測あり

台中(Taichung) JMAコード: TAICHU、USGSコード: TCU

官署来歴
 1896(明治29). 12. 20 測候所開設

観測地点 N 24° 09' E 120° 41' H 78m

地震観測履歴
 1903(明治36). . . 大森式地動計観測開始
 1909(明治42). 1. . . 普通地震計観測開始
 1926(大正15). . . 普通地震計(MS、教育品製造製、No73、固有周期3秒、倍率、水平動5倍、上下動10倍)時計、Moris、電信報時、標高77.1m
 1933(昭和 8). . . 強震計、ウィーヘルト地震計観測あり

高雄(Kaohsiung) JMAコード: TAKAO、USGSコード: KAU

官署来歴
 1931(昭和 6). 4. . . 測候所開設

観測地点 N 22° 37' E 120° 16' H m

地震観測履歴
 1930(昭和 5). . . 大森式微動計、強震計観測あり

花蓮港(Hualien) JMAコード: KARENK、USGSコード: HWA

官署来歴
 1910(明治43). 10. . . 灯台建設気象観測開始
 1920(大正 9). 8. . . 測候所開設

観測地点 N 23° 58' E 121° 37' H 17.6m

地震観測履歴
 1914(大正 3). 1. . . 大森式簡單微動計観測
 1926(大正15). . . 大森式簡單微動計(OP、固有周期3.2秒、倍率50倍)
 1933(昭和 8). . . ウィーヘルト地震計観測あり

新竹(Hsinchu) JMAコード: SHINCH、USGSコード: HSN

官署来歴

観測地点 N 24° 48' E 120° 58' H m

地震観測履歴
 1933(昭和 8). . . 中央気象台式簡單微動計(旧型)観測開始(1988年まで観測、台北気象局に展示保存)
 1938(昭和13). . . 強震計、ウィーヘルト地震計、大森式地動計観測あり

新港(Xingang) JMAコード: SHINKO、USGSコード:

官署来歴

観測地点 N 23° 06' E 121° 23' H m

地震観測履歴

1942(昭和17). ウィーヘルト地震計観測あり
1943(昭和18). 強震計、簡単微動計観測あり

阿里山(AliShan) JMAコード：ARISAN、USGSコード：ALS

官署来歴

観測地点 N 23° 31' E 120° 48' H 不明

地震観測履歴

1933(昭和 8). 大森式地動計、簡単微動計(機種不明)、大森式強震計、ウィーヘルト地震計による観測あり。
1941(昭和16). 12. 嘉義烈震による地震計室被害の写真、台湾総督府気象台発行の嘉義地方烈震報告にあり。

澎湖島(Magong, Penghu) JMAコード：HOKOTO、USGSコード：PNG

官署来歴

1897(明治30). 11. 21

観測地点 N 23° 32' E 119° 33' H 11m

地震観測履歴

1898(明治31). 1. 普通地震計観測開始
1903(明治36). 大森式地動計観測開始
1926(大正15). 大森式地動計(0S、教育品製造製、No11、東西動、固有周期14秒、倍率6倍、摩擦値、0.00714)、電信報時、標高9.4m
1942(昭和17). 簡単微動計の観測あり

恒春(Hengchun) JMAコード：KOSHUN、USGSコード：HEN

官署来歴

1897(明治30). 11. 20

観測地点 N 22° 00' E 120° 44' H 24m

地震観測履歴

1907(明治40). 10. 大森式地動計観測開始
1909(明治42). 1. 普通地震計観測
1926(大正15). 大森式地動計(0S、東西動、周期16秒、10倍)、普通地震計(MS、教育品製造製、No14、南北上下動10倍、東西動5倍)、時計J. Calomb、電信報時経度120 46 標高22.3m
1933(昭和 8). 強震計、ウィーヘルト地震計による観測あり

基隆社寮島 JMAコード：、USGSコード：

官署来歴

観測地点 N 25.15° E 121.75° H m

地震観測履歴

1901(明治34). 4. 普通地震計観測開始
1901(明治34). 6. 強震計(大森式)観測開始
1910(明治43). 4. 大森式地動計観測開始
1916(大正 5). 8. 観測所閉鎖地震観測中止

彭佳嶼 (Pengjia, Ajinkoto)

JMAコード : HOKAKO、USGSコード : PCYT

官署来歴

1909(明治42). 10. 測候所開設

観測地点

N 25° 38' E 122° 04' H m

地震観測履歴

1935(昭和10). . . 単微動計、強震計の観測あり

宜蘭 (Iilan)

JMAコード : GIRAN、USGSコード : IIL

官署来歴

観測地点

N 24° 46' E 121° 45' H m

地震観測履歴

1935(昭和10). . . 単微動計、強震計の観測あり

南洋地域

パラオ:Palau

JMAコード : PALAU、USGSコード : PLA

官署来歴

- 1922(大正11). 4. 1 南洋庁官制公布
- 1922(大正11). 10. 1 パラオ諸島コロール島に南洋庁観測所を置く
- 1923(大正12). 2. 1 一般気象観測開始
- 1929(昭和 4). 7. 地震計室新築
- 1944(昭和19). 9. 空襲により観測所被災。

震度観測位置

1923(大正11). 10. 1 カロリン群島パラオ諸島コロール島南洋庁観測所
N 7° 20' E 134° 29' H 不明

地震観測履歴

- 1927(昭和 2). 1. 中村式単微動計を設置して地震観測を開始。
- 1929(昭和 7). 7. 地震計室は観測所本館西側の鉄筋コンクリート平屋建て(51.8平米)の内にある、地震計台は地中深さ2.77mよりコンクリートつき固めたる基底14.0m²、高さ3.18mの塊台よりなり、その東西両側は厚さ16.1cmのコンクリートの壁により時計室、微気圧形室および検測室に隣し南北両側に押し開きガラス戸をもって廊下に面している。室内の温度差は摂氏1度内外というわずかなものである。検測結果は年報として昭和5年から出版配布している。内容は発震時、初期微動時間、周期、総振動時間、初動、震度、震央距離などである。(測候時報、33、1-2号、川崎英男より)。
ウィーヘルト地震計、大森式地動計、中央気象台型強震計設置し、観測開始
- 1944(昭和19). 9. 空襲により観測所被災、観測中止

地震計位置

N 7° 20' E 134° 29' H 不明

中村式単微動計

1927(昭和 2). 1. - 不詳

ウィーヘルト地震計

1929(昭和 7). 7. - 1944(昭和19)

大森式地動計

1929(昭和 7). 7. - 1944(昭和19)

中央気象台型強震計

1929(昭和 7). 7. - 1944(昭和19)

3-2 朝鮮半島、中国東北部、樺太地域

朝鮮半島

平壤(Pyongyang) JMAコード: HEIJO、USGSコード: PYR

官署来歴

1907(明治40). 2. 観測所開設

観測地点 N 39° 01' E 125° 41' H 48m

地震観測履歴

1930(昭和05). . 中央气象台式简单微動計の観測あり
1930(昭和05). . 2倍強震計の観測あり(固有周期5秒、制振度2)

釜山(Pusan) JMAコード: FUZAN、USGSコード: PUS

官署来歴

1884(明治17). 6. 17 気象臨時観測開始(電信局委託)
1907(明治40). 2. 観測所開設

観測地点 N 35° 06' E 129° 01' H 15m

地震観測履歴

1926(大正15). . 大森式地動計(OS、東西動、20倍、固有周期30秒)時計、Russels No7009、無線報時
1930(昭和05). . 大森式地動計、ウィーヘルト地震計の観測あり
19 (). . 新庁舎落成記念の写真に大森式強震計が設置されている写真あり。

京城(Soul) JMAコード: KEIJO、USGSコード: SEO

官署来歴

1907(明治40). 2. 観測所開設

観測地点 N 37° 34' E 126° 59' H 32m

地震観測履歴

1930(昭和05). . 大森式简单微動計、ウィーヘルト地震計の観測あり
大森式简单微動計、倍率50倍、周期3.5秒

大邱(Taegu) JMAコード: TAIKYU、USGSコード: TAE

官署来歴

1907(明治40). 1. 観測所開設、大邱面刷還洞,, 本町
N 35° 50' E 128° 36' H 39.4m
1916(大正 5). 1. 1 大邱府徳山町34番地に移転
N 35° 52' E 128° 36' H 53.4m
1936(昭和11). 12. 13 達城郡壽城面新岩洞151番地に移転
N 35° 53' E 128° 37' H 57.8m

観測地点 N 35° 52' E 128° 36' H 53.4m

1929(昭和04). 1. 1 - 1936(昭和11). 12.
N 35° 53' E 128° 37' H 57.8m
1937(昭和12). 1. 1 - 1945(昭和20). .

地震観測履歴

1928(昭和03). 7. 15 地震計室着工
1928(昭和03). 11. 26 地震計設置、12月4日試験観測開始

1929(昭和04). 1. 1 ウィーヘルト水平動地震計、大森式簡単微動計、大森式2倍強震計観測開始
1937(昭和12). 1. 1 新庁舎に移転、地震観測再開

仁川(Inchon) JMAコード：JINSEN、USGSコード：INC

官署来歴

1904(明治37). 4. 臨時観測所として発足

観測地点 N 37° 29' E 126° 37' H 68 m

地震観測履歴

1914(大正03). . . 大森式微動計による観測あり
1926(大正15). . . 大森式微動計(OH、教育品製造製、制振なし、倍率150倍、固有周期南北動12.0秒、東西動20.0秒)
時計、Nardan No246、Dent. No58554(振り子時計)、無線報時
1930(昭和05). . . ウィーヘルト地震計、大森式簡単微動計、大森式2倍強震計による観測を実施

秋風嶺(Chupungnyong) JMAコード：SHUFUR、USGSコード：SYU

官署来歴

1935(昭和10). 9. 測候所開設

観測地点 N 36° 13' E 128° 00' H246 m

地震観測履歴

1938(昭和13). . . 簡単微動計による観測あり

中国東北部

大連(Dalian) JMAコード：DAIREN、USGSコード：DAI

官署来歴

1904(明治37). 3. 測候所開設

観測地点 N 38° 54' E 121° 38' H 97 m

地震観測履歴

1914(大正03). . . 大森式地動計による観測あり
1926(大正15). . . 大森式微動計(OT、教育品製造製、No116、制振なし 東西動、倍率120倍、固有周期15秒、摩擦値0.002)
大森式地動計(OS、戸谷製、No364、制振なし 東西動、倍率20倍、固有周期18倍、摩擦値0.001)
大森式地動計(OS、教育品製造、No38、制振なし 南北動、倍率20倍、固有周期23倍、摩擦値0.001)
時計、Dent. No58633(振り子時計)、無線報時
1930(昭和05). . . 大森式地動計、大森式微動計、簡単微動計、ウィーヘルト地震計による観測あり

營口(Yingkou)

官署来歴

1904(明治37). 9. 測候所開設

観測地点 N 40° 40' E 122° 12' H 4 m

地震観測履歴

1934(昭和09). . . 簡単微動計による観測あり

奉天(瀋陽、Shenyang)

官署来歴
1904(明治37). 3. 測候所開設

観測地点 N 41° 46' E 123° 26' H 43 m

地震観測履歴
1933(昭和08). ウィーヘルト地震計による観測あり

長春(Changchun)

官署来歴
1908(明治41). 11. 測候所開設

観測地点 N 43° 54' E 125° 13' H238 m

地震観測履歴
1914(大正03). 大森式地動計による観測あり
1933(昭和08). 簡単微動計による観測あり

漢口(Hankow)

官署来歴
19 () 不明

観測地点 N 30° 35' E 114° 17' H35.5 m

地震観測履歴
1926(大正15). 普通地震計(MS、市川製、No1、倍率5倍)
電信報時

南樺太

大泊(コルサコフ) JMAコード: ODOMAR、USGSコード: 00T

官署来歴
1908(明治41). 3. 31 測候所名を大泊測候所に改める。

観測地点 N 46° 39' E 142° 46' H 37 m

地震観測履歴
1909(明治42). 4. 普通地震計による観測開始
1911(明治44). 1. 大森式地動計(40倍)観測開始
1915(大正04). 9. 大森式微動計(60倍)観測開始
1926(大正15). 4. 簡単微動計観測開始
1926(大正15). 大森式地動計(OS、教育品製造製 No91、制振なし 東西動、倍率20倍、固有周期20秒、摩擦値、0.0009)
大森式微動計(OT、教育品製造製、No174、制振なし 倍率60倍、周期20秒、摩擦値0.0006)、
大森式簡単微動計(OP、横尾製、No158、制振なし 倍率40倍、固有周期10秒、0.0003)普通地震計(MS、佐野製、No1)
時計、Nardan 301、Waltham 22116083、無線報時
1930(昭和05). 7. 新地震計室竣工
1930(昭和05). 11. ウィーヘルト式地震計(77倍)観測開始
(気象百年史資料編、113、115pなどによる)

敷香(Sikka, Poronajsk?)

JMAコード: SHIKKA、USGSコード: SKK

官署来歴

1908(明治40). 9. 18 コルサコフ(大泊)測候所の敷香出張所として発足。

観測地点

N 49° 14' E 143° 07' H 4 m

地震観測履歴

1926(大正14). 10. 新庁舎竣工後、今村式地震計(強震計2倍)設置観測開始
1931(昭和06). 11. 大森式簡単微動計設置観測開始
(気象百年史資料編、114、115pなどによる)

落合(Dolinsk?)

JMAコード: OCHIAI、USGSコード: OTI

官署来歴

1908(明治40). 11. 01 コルサコフ(大泊)測候所の出張所として発足。

観測地点

N 47° 20' E 142° 47' H 7 m

地震観測履歴

1934(昭和09). 1. 20 新庁舎に移転、中央气象台型簡単微動計設置観測開始
(気象百年史資料編、114pなどによる)

恵須取(Uglegorsk?)

JMAコード: ESUTOR、USGSコード: ESU

官署来歴

1931(昭和06). 1. 恵須取林務所内に簡易観測所として発足。

観測地点

N 49° 06' E 142° 02' H m

地震観測履歴

1940(昭和15). 簡単微動計による観測(地震年報による)